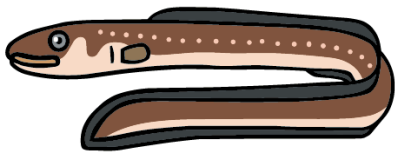


# マアナゴ



- ・ 東京湾においては、あなご筒、小型機船底びき網で、銚子・九十九里においては、沖合底びき網、小型機船底びき網、延縄で漁獲される。
- ・ 産卵場は、沖ノ鳥島南方の九州ーパラオ海嶺上で、葉形仔魚（通称：のれそれ）が日本沿岸に来遊する。

## 資源評価

### 東京湾

水準：低位

動向：増加



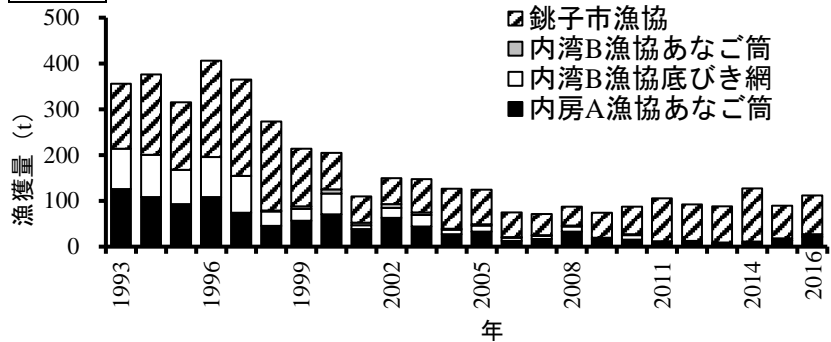
### 銚子・九十九里

水準：高位

動向：減少



## 漁獲量



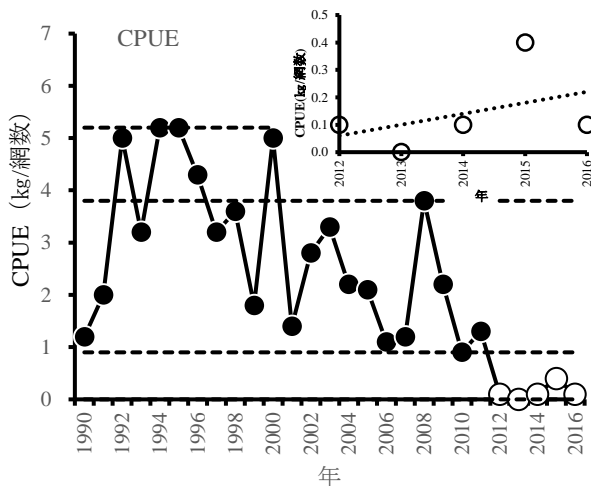
県内主要3漁協のマアナゴ漁獲量 (千葉県調べ)

千葉県内の主要3漁協におけるマアナゴの漁獲量は、1990年代以降減少傾向で、近年は東京湾、内房は極めて低い水準であるのに対して、銚子・九十九里では90トン前後で推移している。

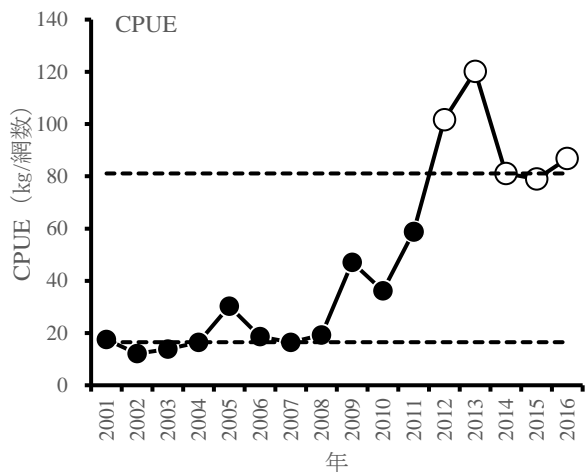
注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。  
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

## 資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、底びき網の操業日誌から集計したCPUE(1網当たりの漁獲量)で判断した。
- ・ 2016年の資源水準は、東京湾では低位、最近5年間の資源動向は増加傾向、銚子・九十九里では高位、減少傾向となった。



東京湾における小型機船底びき網の標本漁船によるマアナゴの1網当たり漁獲量の経年変化



銚子地区における沖合底びき網の標本漁船によるマアナゴの1網当たり漁獲量の経年変化

## 資源管理の取り組み

- ・ 東京湾においては、底びき網で休漁日の設定、操業時間の制限及び漁具の制限、あなご筒で水抜き穴の拡大による小型魚の保護など、銚子・九十九里においては、底びき網で改良漁具導入による小型魚の保護など、漁業者による自主的な資源管理が行われている。